

誠和藤枝病院 2025年に向けた具体的対応方針（平成31年2月）

I 現状と課題

1 病院の現状

- ・許可病床数、稼働病床数：慢性期療養病床 228 床
- ・診療科目：内科・リハビリテーション科
- ・診療実績：療養病棟入院料2 平均在院日数 297.3 日
- ・医師数：常勤 2 名、非常勤 17 名、
看護職員数：常勤 42 名、非常勤 19 名
- ・病院の特徴（担う疾患の分野等）

228 床の医療療養病棟として、急性期を脱した亜急性期及び慢性期の患者様の療養、介護を目的としている。受け入れ疾患は、主に人工呼吸器管理が必要な患者様、結核の急性期等の特殊な感染症の患者様を除き、全般的に亜急性期から慢性期にかけての療養、介護を必要とする患者様です。病床は、4 人部屋が中心で、より管理の必要な患者様には、2 人部屋での対応も行なっている。

その他、リハビリテーションにも力を入れており、PT、OT、ST の各セラピストを揃え、対応している。また、療養上の心理・社会的な問題に対しても、ソーシャルワーカー2 名を配置し、入院から、退院までの経過の中で必要に応じて対応している。

2 病院の課題

認知症の患者様に合併症の治療が行える場所が余りない。認知症で問題行動がある場合急性期病院での受け入れが難しい等の問題がある。このような患者様に対し受入れ後どのように係っていくか？課題と考えている。

II 今後の方針

1 地域において今後担うべき役割（プラスα）

- ・リハビリテーション、嚥下訓練等が必要な患者等ケアニーズの高い慢性期患者様に対して生活の視点を重視した医療・看護の提供
- ・在宅療養における家族の介護負担や急変時の対応等を踏まえて、レスパイト入院の対応体制の更なる充実。

2 4 機能ごとの病床のあり方

(1) 今後の方針（病床機能報告から転記）

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			
回復期			
慢性期	228		228
(合計)	228		228

(2) 今後持つべき病床機能等（病床機能の転換を検討している場合に記載）

- ・ 基本的には現在の慢性期（療養病棟）を維持する方向であるが、入院基本料等の内容により、介護医療院を一部もしくは全面的に検討する。

(3) 具体的な方針及び整備計画（病棟機能の変更がある場合）

- ・ 病棟機能の変更理由：入院基本料（医療区分の比率、内容）により維持できなくなる可能性がある。
- ・ 病棟の改修：療養病棟を維持する方向ではあるが介護医療院への転換も考えていきたい。具体的計画は方向性がはっきりするまで、未定。

(4) 年次スケジュール（病棟機能の変更がある場合）

未定

3 診療科の見直し（見直しを検討している場合に記載）

(1) 今後の方針

	現在 (本方針の策定時点)		将来 (2025年度)
維持		→	
新設		→	
廃止		→	
変更・統合		→	

(2) 具体的な方針及び計画